

中小企業ぎふ

2014

2・3

Vol.629

2014年3月25日発行

～ 立ちあがろう中小企業、日本のために ～



第23回 ア・ミューズ岐阜より (じゅうろくブラザ)

クローズアップ企業

2~3

岐阜婦人子供服
工業組合
組合員

「株式会社ビゼン」



- 中央会の活動 4~7
- 組合等の活動 8
- 海外レポート 9
- 2月の景況レポート 10~11
- 会員組合紹介 12~13
- インフォメーション 14~15
- 補助金事業のご案内 16



“組合のニーズに応えるパートナー・中央会”

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館9階
TEL 058 - 277-1100(代) FAX 058-273-3930
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

クローズアップ企業

株式会社ビゼン

【岐阜婦人子供服工業組合・組合員】



《企業概要》 岐阜市問屋町3丁目1-8

株式会社ビゼン 代表取締役 糸尾 晴男

JR岐阜駅前の問屋町をメインに県内の婦人子供服製造卸業者で構成する当組合は、岐阜アパレル産業の牽引役として業界の発展に貢献してきました。

昭和46年2月に設立し40年を経過しましたが、当組合では組合員の経営の安定及び合理化を図ることを目的に、ファッショントレンドセミナーやパターン技術セミナーといった各種セミナーの開催、国内外の展示会への出展、有名百貨店での常設アンテナショップや期間限定セールなどを行ってきました。また、組合で展開したブランドが、県が推進する岐阜ブランド「オリベスク」第1号の認定を受け全国展開するなど、各種事業を通じて岐阜アパレルのPR活動に努めています。

今回は、設立50年の節目を迎えたミセスファッションの老舗メーカー「株式会社ビゼン」を訪問し、現社長の後継者で企画全般を担当されている糸尾部長にお話をうかがってきました。

◎御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

☞ 糸尾部長

当社は昭和38年に創業し、昨年50年という節目を迎えました。会社名は“美しい繊維”から“美織”としたのが由来です。極端な言い方かもしれませんが、当時は作った物は何でも売れた時代でした。現在のように多品種に展開しなくても一つの商品で商売が成り立っていました。

岐阜の問屋町は40代から60代のミセスファッションを中心に扱う業者が多く、得意分野となっています。当社では創業当時からコートに専門に扱ってきました。主に60代以上のハイミセスのファッションを手掛け、かつちりとし過ぎず普段着よりもお洒落なお出かけ着をイメージして商品づくりに励んでいます。

ファッションは気候に大きく左右されます。例えば寒さが長引けば春物が動き出すのも遅れますし、急に暑くなれば夏物が早く売れ出します。日本は広いので南と北で売れる商品も変わってきますから、商品をうまく回転させて商売をしています。しかし、予測して作った商品が思うように動かない事も多々あるので、四季を安定して感じられる気候がいいですね。

◎御社の特徴や方針を教えてください。

☞ 糸尾部長

今は多くのアイテムを持っていないと商売が成り立た

ないため、トップスを中心にジャケットやベストなども取り扱っています。取引先は8割がバイヤーと呼ばれる2次問屋で2割が小売店です。そのため、全国のバイヤー向けに各メーカーの最新ファッションを展示する「ア・ミュージズ岐阜」には私も企画・運営に携わりながら、毎年出展して情報発信をしています。

当社では“着心地の良さ”を重視しています。レディース服は見た目はスリムなシルエットが好まれますが、着てみると少し窮屈だったりする場合もあるので、ハイミセスの体型に合わせた服の型づくりを行っています。また、デザインは全体的にシンプルですが、若い感性を取り入れて、さりげない可愛らしさや遊び心といったお洒落感を出すように心掛けています。素敵なハイミセスに着て欲しいという想いから「おばあかわいい服」と名付けています。品質にもこだわりを持っているので、検品は一品一品を手にとって丁寧にしています。日本製という付加価値は大切にしていかなければいけません。

当社は長い間コート一筋に製造してきました。コートの縫製は難易度が高く技術が無いと扱えないため、岐阜で長年お付き合いのある縫製工場はトップレベルの技術を持っています。縫製が綺麗だと売れ方も違いますし、取引先から「仕立てが綺麗ですね」と褒めてもらえることに喜びを感じます。



◎組合に期待することは何ですか？

☞ 糸尾部長

組合で進めた「オリベスク」は素晴らしい事業だと思っています。服の小売店が減少して高齢者が服を買うお店が少なくなっている中で、国内に30店舗を展開して新しいスタイルの商売を提案しているので先見の明があったと思います。また、丸栄百貨店で販売をはじめとした全国各地でのセールス展開や国内外で開催される各種展示会への出展など、岐阜アパレルの販促活動を継続して実行されています。直ぐに実を結ばない事もありますが、続けなければその先も見えてこないのです。今後知名度アップに向けた活動に取り組んで欲しいです。その他にも組合は組織力によるメリットが提供できるので、各種保険制度の割引といった恩恵が受けられて助かっています。

一つお願いするとすれば、県内の縫製業者の方々が高齢化してきており、廃業を選択される事業者もいます。当社だけでなく他の組合員も危惧していることだと思えますが、我々は縫い手の方々に頼っている部分も大きく、縫製業者の減少は我々の商売に影響してきます。Made in Japanのブランド力と高い縫製技術を守っていくため、中央会には縫製業者が組織した組合も加入していると思うので、組合が中心となりアパレル関係の川上から川下の事業者を集めてこうした問題について意見交換する場を提供してもらえると対策が講じやすくなるのではないのでしょうか。

◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

☞ 糸尾部長

社長は「在庫は持たないように」と口が酸っぱくなるほど言っています。過去に在庫が原因で立ち行かなくなった会社を何度も目の当たりにしたからでしょう。そのため、当社では極力在庫は持たないようにしています。

当たり前のことですが、いい商品を作って周りからの期待に応えていけば結果はついてくるとしています。そのため、お客様である取引先からの信用や、当社を支えてくれる外注先、金融機関等との信頼関係を裏切らないようにしなければいけません。常に誠意と真心を持って接するよう努めています。

岐阜のアパレル業界は底のような状況が続いていますが、我々の強みに企画から裁断、縫製、そして卸までを地域内で行えること、つまりスピード力という大きな武器を持っています。スピード力はアパレル業界において重要で、取引先からの急な要請にも対応できるのは、近くに沢山の仕事仲間がいるお蔭だと思っています。今後も創業時からの信念を変えずに、日本製の誠実な服づくりを守り続けていきたいと思っています。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

☞ 糸尾部長

相反することで難しいですが、“リスク回避”と“挑戦”をしていかなければと思っています。新しい事への挑戦は絶対に必要です。そうしないと良くて現状維持、多くは徐々に衰退していきます。しかし、チャレンジにはリスクが伴います。リスクは可能な限り排除しなければいけません。各業務の中で無理・ムラ・無駄を取り除き効率を上げていければ、おのずと正確で確実な仕事に繋がるはずで。

新しい事への挑戦としては、オリベスク用の商品開発は必要かなと思います。当社における商品サイクルがオリベスクのサイクルと噛み合わなかったこともあって、商品供給があまり出来ていないので、今後はオリベスクブランドにも注力できればと思います。また、小売の流通形態が大きく変化したこともあり、通販やカタログショッピング、ネット販売といった市場にも着目していきたいです。

問屋町と共に歩み、成長してきたという想いを強く持っているので、お世話になった問屋町にどうしたら恩返しができるかを常に考えています。もう一度、岐阜アパレルが輝き、問屋町が活況に沸き、人で溢れる日が来ることを願っていますし、アパレル産地岐阜の発展に向けたお手伝いが出来ればと思っています。



【組合概要】

岐阜婦人子供服工業組合

理事長 中島哲郎 (サンラリー(株) 取締役会長)

〒500-8842 岐阜市金町8丁目28番地

URL: <http://gwca.jp/index.html>

組合員数：149社

主な事業：指導及び教育、情報収集及び提供



東京で『スーパーマーケット・トレードショー』に出展

中央会は、2月12日から14日まで東京ビッグサイトで開催された『第48回スーパーマーケット・トレードショー2014』に初出展し、会員組合及び組合員企業から8組合等が出展した。

スーパーマーケット・トレードショーは、全国のスーパーマーケットや百貨店など流通・販売・外食産業等のバイヤーが来場する全国規模の展示商談会。今回は1,402社・団体が2,723小間を出展し、3日間で約82,000人のバイヤー等が来場した。

中央会事業の「組合産品PR展」として中央会が団体出展し、会員組合及び組合員企業に小間を提供。全国のバイヤーとの商談・PRの機会を提供することで、食品（食材）の販路拡大と商品力の強化を図ることを目的としている。

出展にあたっては、事前に本会の「組合等ブラッシュアップ支援事業」を活用し、出展商品の絞り込み、商品の見せ方、ターゲットとする販路の検討、商品パッケージの検討などについて数回にわたり専門家の支援を受けて出展に臨んだ。出展者からは支援事業による専門家のアドバイスにより展示会に自信を持って臨むことが出来たといった意見や商談・PRの機会が得られたことで新たな販路開拓に繋がったとの感想が聞かれるなど、今後の展開が期待できる結果となった。

また、出展後も引き続き「組合等ブラッシュアップ支援事業」により、商談フォローや出展により明らかとなった課題の解決等に取り組む会員組合等を支援していく。



高山米穀協業組合

(代表理事 三ツ谷昌巳)

出展商品

飛騨産 いのちの壺・コシヒカリ、飛騨牛、カレー

イチオシ出展商品

「飛騨産 いのちの壺」

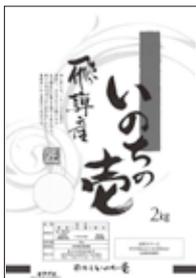
2000年に飛騨コシヒカリから突然変異で発見された新しい品種。大粒で粘り・香り・弾力が強く、ご飯が甘いのが特徴。冷めても美味しい。

ブラッシュアップの内容

組合及び商品の効果的なPR方法、出展商品の見せ方、商談フォロー

出展者の声

素材(米・肉)そのものに対する反応より既に商品となっている「飛騨牛カレー」の反応が一番高かった。名刺交換した先にサンプルを送り今後の取引に繋がりたい。また、組合で取り扱いたい商品も他ブースに出展しており、仕入先の拡大にも利用できたもの良かった。大変有意義な出展でした。



村山チキンセンター

(代表 村山弘明) (飛騨美濃鶏ちゃん協同組合 組合員)

出展商品

ケーちゃん各種、から揚げちゃん、ケーちゃん(業務用)、栃みそ鶏ちゃん

イチオシ出展商品

「ケーちゃん」(田舎みそ味、田舎しょうゆ味)

みそ・しょうゆ等で味付けした鶏肉を野菜と一緒に香ばしく焼いて食べる家庭料理で、岐阜県飛騨地方の郷土料理。岐阜県下呂市の学校給食にも採用されています。鶏肉は全商品国産鶏肉を使用しています。

ブラッシュアップの内容

新商品のPR方法、販路の絞り込み、商談フォロー

出展者の声

岐阜・愛知等の東海エリアの方が来られて「鶏ちゃんいつも食べてます」と言っていただきました。また「鶏ちゃん」は、以前より露出も増え、認知度が上がったと感じました。商談が数件まとまるなど、予想外の成果もあり、満足のいく結果でした。



奥美濃カレー協同組合

(理事長 篠 哲朗)

出展商品

奥美濃カレーレトルト、奥美濃カレーせんべい

イチオシ出展商品

「奥美濃カレーレトルト」

郡上産の鹿肉と豚肉の挽肉を使用し、隠し味に郡上味噌を入れ、コクのあるカレーに仕上がっています。郡上産の鹿肉は、獣害対策として郡上の若者猟師で結成された「猪鹿庁」の鹿肉を使用しています。

ブラッシュアップの内容

出展商品の効果的な試食・展示方法、商談フォロー

出展者の声

バイヤーから「鹿肉の入ったカレーは初めて食べたが食べやすかった」「地味噌を使ったせんべいは珍しい」といった評価をいただきました。特に、鹿肉の入った奥美濃カレーについてはバイヤーの反応がかなり良く、すでに引き合いがあります。スーパーマーケット・トレードショーに来場するバイヤーは質が高いと感じました。



岐阜食品株式会社

(代表取締役 箕浦高之)〔岐阜県食品産業協議会 会員〕

出展商品

美濃のお米「はつしも」、国産釜めしの素各種、新生姜漬の素、五穀酢入りらっきょう漬の素、りんご酢入りらっきょう漬の素、しそ梅酢、国産赤しそ

イチオシ出展商品

「釜めしの素」(栗、松茸、竹の子、国産彩り山菜)

釜めしの素を作り続けてきた当社自信の商品。

ブラッシュアップの内容

出展商品の効果的な試食・展示方法、商談フォロー

出展者の声

国産の素材を使って「釜めしの素」を製造しているメーカーが少ないため、関心を示すバイヤーが多かった。一方で、ハツシモに対する認知度が低く、ハツシモ自体をもっとPRする必要があると感じました。新規のバイヤー獲得も大切ですが、出展したことによって食品のトレンドを勉強できたので、今後の商品開発に役立ちそうです。具体的な商談もでき、出展して非常に良かったと思います。



株式会社鵜舞屋

(代表取締役 高森幹啓)〔岐阜ステーション名産販売協同組合 組合員〕

出展商品

ぎふ朴葉寿司、小鮎やわか煮、鮎昆布巻

イチオシ出展商品

「ぎふ朴葉寿司」

岐阜の郷土料理「朴葉寿司」に当社の佃煮(小鮎やわか煮、牛肉しぐれ、あさりしぐれ、ちりめん山椒昆布、きやらぶき)を入れた冷凍食品。LGCソフト米をブレンドすることで、冷凍しても解凍時にはできたてに近い美味しさを味わうことができます。解凍方法は常温・レンジ・蒸しの3種類。

ブラッシュアップの内容

出展商品の絞り込み、新商品のPRと見せ方、商談フォロー

出展者の声

「朴葉寿司」は、ロウサンプルを並べたことで、バイヤーの視覚に訴えることができました。「鮎昆布巻」も、昆布のもっちり感が好評でした。バイヤーからは、商談に向けて商品に対する逆提案や要望もあったほか、今後の商談につながりそうなバイヤーと名刺交換ができ、未開の販路が開拓できそうです。今後は、見た目やトレーなど、バイヤーの見やすいような試食の方法を勉強するとともに、今後の商談に活かすアフターフォローを心がけたいと思います。質が高いと感じました。



小林生麺株式会社

(代表取締役 小林俊夫)〔岐阜県製麺協同組合 組合員〕

出展商品

グルテンフリー米ぎょうざ、グルテンフリーヌードル各種

イチオシ出展商品

「グルテンフリー米ぎょうざ」

小麦を一切使用していない餃子です。たっぷりの国産野菜とジューシーな粗挽き肉をもちもちの米粉の皮で包んでいます。

ブラッシュアップの内容

新商品のパッケージ及び効果的なPR方法、出展後の商品の課題解決と商談フォロー

出展者の声

「グルテンフリー米ぎょうざ」は、グルテンフリーであること、米粉で作られた餃子であることのほか、味や食感等に対して評価をいただきました。また、「グルテンフリーヌードル」は、パッケージに高い評価をいただきました。グルテンフリー食品としての宣伝がやや不足していたとも思われ、もっと前面に出すべきでしたが、グルテンフリーに対するバイヤーの認知度なども把握でき、対応すべき課題も明らかになりました。



武芸川町特産品開発企業組合

(理事長 杉山ミサ子)

出展商品

そうめん風こんにやく「美人めん」、つるむらさきうどん、つるむらさきパスタ

イチオシ出展商品

「そうめん風こんにやく 美人めん」(2食入りつゆ付)

岐阜クリーン農業で育ったつるむらさきをこんにやくに混ぜて作りました。カロリーは1人前でわずか6kcalしかないため、ダイエットにも最適です。また、つるむらさきに含まれるカルシウムも摂取できる体に良い優れた食品です。

ブラッシュアップの内容

新商品のPRと見せ方、商談フォロー

出展者の声

「美人めん」は、低カロリーであることに関心を持ってもらえました。試食で「おいしい」「こんにやくの匂いがしない」「コリコリしている」など、味や食感に対しても評価をいただきました。他県・他社のブースを見て回るだけでも、今後の商品の改良等の参考になりました。他の展示商談会と比較してもバイヤーの



質や感度が高く、商品に対する意見や批評を聞くことができたのは大きな収穫になりました。

有限会社麺の清水屋

(代表取締役 清水富康) (岐阜県製麺協同組合 組合員)

出展商品

飛騨高山らーめん、頭脳ラーメン、飛騨塩麩らーめん、飛騨ブラックらーめん、飛騨にぼしらーめん

イチオシ出展商品

「飛騨塩麩らーめん」

塩麩のまろやかな特長を活かしたコクと深い味わいのある塩ラーメンスープと飛騨伝統のコシのある細ちぢれ麺が相性抜群です。塩角がなく、すっきりとした味わいのスープは、まさに飲み干す一杯です。

ブラッシュアップの内容

出展商品のPRと見せ方、出展後の商品の課題解決と商談フォロー

出展者の声

「関東圏には高山らーめんが出回っておらず、面白い」といった意見や商品企画や品揃えの良さに対する評価、商品に対する指摘など、バイヤーの反応を見ると質の高い展示会だと感じました。様々な業種のバイヤーと意見交換やPRがしっかりできたため、今後、継続して出展したい。継続することで、ブランドの向上、商品の定番化を図ることができると考えています。



就職マッチングフェアとセミナーを開催

中央会は「就職マッチングフェア」と「人材採用・育成担当者向けスキルアップ研修」を2月8日に岐阜市文化センターで開催した。

今年度最後となる就職マッチングフェアは、平成26・27年3月大学等卒業予定者並びに卒業後3年以内の求職者を対象に開催し、県内に事業所を構える中小企業83社が参加した。当日は朝から雪が降り続く天候だったが、希望業種の就職先を探す学生らで会場は熱気に包まれていた。

また、「新卒者等の採用・人材定着のポイント」をテーマに行ったセミナーでは、(株)名大社の山田哲也社長が講師を務め、求める人材を採用する方法や学生の動向について解説したほか、若手従業員育成のポイントについて「若手社員はコミュニケーションの仕方がわからない人が多い。ゆとり世代を活用するには負荷をかけ、成功体験を感じさせてどんなスキルが身につくかを前面に打ち出すことが必要だ」とアドバイスした。



ワールドカフェ方式で事務局代表者懇談会を開催

中央会は、県中小企業組合士協会(市原敬夫会長)と共催して「事務局代表者懇談会」を2月21日にホテルパークで開催し、会員組合の代表者ら18名が参加した。

懇談会は「ワールドカフェ方式」で行い、4人1組に分かれてワールドカフェぎふのファシリテーターが進行役を務め『今、組合員が組合に求めているものは何か?』について自由に対話がなされた。1ラウンド20分を計4ラウンド行い、「組合運営の中で感じていること」、「これからの組合運営の中で出来ることやアイディア」などについて意見交換を行った。

参加者からは「組合で補助金や助成金の一覧表を作成して組合員に情報提供することも検討したい」などといった具体的な意見が出され、また、最後に全員が発表を行うことで意見の共有を図るなど、有意義な懇談が行われた。



ものづくり・商業・サービス補助金の説明会を開催

中央会は、平成25年度補正予算で予算措置された「ものづくり・商業・サービス補助金（中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業）」の説明会を長良川国際会議場で2月25日に開催した。

午前・午後とも各300人の定員に対し会場は、県内の中小企業者をはじめ、認定支援機関の担当者や専門家等で満席状態となり、関心の高さがうかがえた。

本会担当者より補助事業の概要や申請書類作成のポイントなどについて説明したほか、平成24年度補正で予算化された「ものづくり補助金」で散見された具体例を挙げ、注意を促した。

なお、補助金の詳細等については、本誌の16頁並びに本会HPでご確認下さい。



金融機関に評価される決算書について研修

中央会は、中小企業の経営及び資金繰りの改善ポイント等について解説し、金融機関の評価を得るための決算書作成方法を学ぶ「金融機関に評価される決算書作成セミナー」を2月24日にふれあい福寿会館で開催した。

講師の岡本実穂税理士からは、事例を交えながら決算書の中で金融機関が重要視する点や交渉を有利に進めるためのポイントなどが説明され、「融資の際には金融機関から社長の意見が求められる。事業計画、返済計画について自らの言葉で具体的に説明できるようにすること」とアドバイスした。



組合青年部強化研修会を開催

中央会と青年中央会は、2月4日にホテルパークで「組合青年部強化研修会」を開催し、組合青年部員など51人が参加した。

研修会では、(株)ネクストスタンダードの齊藤正明代表取締役が「ヒトと組織をイキイキさせる！マグロ船式仕事術!!」と題して講演し、今から十数年前、民間企業の研究開発部門で魚の身が腐るのを防ぐ研究を行っていた頃、上司から“マグロ船に乗ってマグロのすべてを見てこい”と命令され、大分県のマグロ漁船に乗船した経験談を紹介した。

乗船当時の作業着で登場した齊藤氏は、乗船期間中に体験した過酷な作業等に触れながら「赤道に向かって一度漁に出ると、狭い船内で40～50日間も10人程の船員と仕事と生活を共にする環境の中で、すべての船員のモチベーションを持続させ、やる気にさせてトップクラスの売上を得るためには、船長のリーダーシップや気配りが重要であることを目の当たりにした」と身振り手振りで語り、「部下とのコミュニケーションの取り方や部下の育て方など、マグロ船で学んだことは会社組織にも当てはまる。皆さんの会社に置き換えて考えていただければ」と話していた。



中央会の組織名称を変更します！

中央会は、平成26年4月1日より組織名称を、チームから「課」に変更します。

また、組織名の変更に伴い、役職名についても「課長」、「課長補佐」、「係長」とします。

新しい組織名は以下の通り。今後ともよろしくお願い申し上げます。

既存組織名称		新組織名称	既存組織名称		新組織名称
総務チーム	➔	総務課	広報チーム	➔	広報課
組織支援チーム	➔	指導課	国際チーム	➔	国際課
情報労働チーム	➔	情報課	※両支所の名称は変更なし		

組合等の活動

岐南町と災害協定を締結

●赤帽岐阜県軽自動車運送協同組合(曾根憲一理事長)

赤帽岐阜県軽自動車運送協同組合は、大地震などの災害発生時に救援物資の管理や配送について協力する「災害時における緊急物資輸送等に関する協定」を羽島郡岐南町と締結した。

災害時に全国から寄せられた救援物資の管理や運搬は町職員が担当するが、物流に慣れた組合員が支援することで効率的な運営が期待できる。1月15日には松原町長、組合から曾根理事長と小島副理事長が出席して調印式が行われた。曾根理事長は「組合では地域貢献活動として組合事務所周辺を清掃する「赤帽クリーンロード」や子供110番による防犯パトロールなどを行っている。今回もその一環であり、いざという時にはサポート体制を整えて地域のお役に立ちたいと考えている」と挨拶した。



小学校で卒業証書用紙の製作を指導

●美濃手すき和紙協同組合(武井柳一理事長)

美濃手すき和紙協同組合は、美濃市内の牧谷小学校からの依頼に応じて和紙教育を毎年行っている。今年度も計7回に亘り組合員が小学校へ出向き手すき和紙の体験を指導した。

同校では、1年生からハガキなどの製作を通じて「ため漉き」や「流し漉き」などの紙すき技術を学び、6年生になると卒業証書に使う和紙を製作している。また、学年の枠を越えたグループ活動を実施しており、1月15日には全校児童が参加して和紙の原料「楮(こうぞ)」のちりとり(不純物を手で取り除く)の工程を行った。

1月28日には、最終仕上げとなる卒業証書の和紙づくりが行われ、手すきの経験を積んできた6年生19人が組合員5人のサポートを受けながら作業を進め、校章の透かしが入った美濃和紙の用紙を完成させた。

武井理事長は「郷土の歴史や文化に触れ合う目的で始まったこの行事は20年以上も続き、組合としても良い経験が出来ている」と感想を述べた。



岐阜流通センター(協連)が産学連携協定を締結

●岐阜流通センター協同組合連合会(辻正会長)

岐阜流通センター協同組合連合会は、隣接する岐阜聖徳学園大学と産学連携に関する協定を締結した。

同連合会には物流業や卸売業などを営む企業57社が加入し、大学には約4千人の学生が在籍している。今後、双方は人的交流などを通じて地域経済の活性化と産学ネットワークの構築を目指していく。

協定の内容は、連合会では新年度から傘下企業の協力を得て企業人による職業講座の開講やインターシップを実施するほか、人材を求める企業向けセミナー等の開催を予定している。一方で、大学の教員が会員企業の社員らに外国語を教えることなども計画されている。

2月20日に同学羽島キャンパスで行われた締結式で辻会長は「縁の深い大学と提携することができ心から喜んでいる。力を合わせて地域の繁栄に寄与していきたい」とあいさつした。

なお、同連合会では、平成22年1月に「災害時における生活物資の調達、輸送及び保管に関する協定」を岐阜市と締結している。



「ア・ミューズ岐阜」で岐阜アパレルを発信

●岐阜ファッション産業連合会(野口千寿雄理事長)

岐阜アパレルのPRと販売促進を目的に開催されている「第23回ア・ミューズ岐阜」(主催:(一社)岐阜ファッション産業連合会 ア・ミューズ岐阜委員会)が3月4、5日に岐阜市橋本町のじゅうろくプラザや問屋街一帯で開催された。

今年のテーマは「結集」。ガイドブックの表紙は、岐阜アパレルに関わる人達の「顔」がずらりと並び、一人一人が結集して大きな人の輪から明日のスタイルを提案していきたいとの思いを表現した。

野口理事長は「岐阜でモノづくりを追求し、岐阜ならではの品質の良い商品を提供して、産地の活性化や発展に向けた努力をしていきたい」とあいさつ。来賓とともにテープカットが行われた。



海外レポート『中小企業のインド進出における工夫』

日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部 アジア大洋州課 古屋礼子

12億人以上の人口を抱え、中間所得層が拡大するインド。巨大人口が今後購買力をつけながら、労働力、市場として拡大していくことが予測されている。この巨大市場になんとか先手を打とうと、世界各国の企業がインドに関心を示している。

日本企業の進出は2013年10月時点で、1,072社。国内シェア4割を誇るスズキを筆頭に、自動車産業を中心とした集積がある。JBICが2013年に発表した「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」においても、中期的な有望事業展開先国としてインドは2位にランクインしている。

しかしその関心の高まりとは裏腹に、インドの投資環境は障害も多い。ジェトロの在アジア・オセアニア日系企業活動実態調査（2013年度調査）では、同年の営業利益見込みを赤字と回答したインド進出日系企業は、全体の36.5%と3分の1以上にのぼる。主要取引先からの値下げ要請の厳しさや競合とのコスト競争等に、他国と比して高い困難がうかがえる結果が出ている。投資環境上の問題点として多く指摘されるのは、電力、道路等のインフラの未整備、煩雑かつ複雑な税体系や行政手続き、土地取得の困難さ、労務管理の難しさなど多岐にわたっている。中小企業にとって参入のハードルは一層高いものとなろう。

では、インド進出中堅中小企業はどのようにこの市場に立ち向かっているのか。そこには、いくつかの工夫を発見することができる。まずは現地の有能な人材を発掘、活用することだ。インドでの操業における課題の中には、許認可取得等の行政関係手続き、労務管理、販路開拓といったものがある。こうした内容は日本人駐在員にとっては困難の度合いが大きい。言語面での問題が無く、地元の慣習への理解がありコネクションもあるインド人が担当することで、スムーズに進められる場合が多い。あまりに現地人材に頼ってしまい、社内の管理体制に目が届かず、好き勝手に経営をされてしまったといった事例もあるが、現地人材の働きによって成果を出している企業も多数存在する。また、複雑な税制度に対しては会計事務所等の専門家の知見を必要とする。一方、そうした専門家のサービ

ス料金は決して安価ではない。そうした場合、ルーティンの部分は現地人材を育成して対処し、重要な内容については専門サービスを利用する「使い分け」が有効になる。

ジェトロが国内外で提供している情報やサービス、事業機会もぜひ活用してほしい。ジェトロの取組みの一つに、日本企業専用工業団地がある。これは州の産業開発公社が日本企業専用工業団地を開発・運営し、ジェトロが日本企業との間に立って、各種情報提供や入居後の環境改善要求等を行うものだ。現在ラジャスタン州、グジャラート州、マハラシュトラ州でプロジェクトが進行中で、ラジャスタン州のニムラナ工業団地には40社を超える日本企業の集積がある。ここでは1社では届きづらい入居企業の声を集団の力を利用し、日本企業の総意として州側へ要望、環境を改善していくという流れが生まれている。また、本来は競合ともなる日本企業同士が日々の運営上の問題点や生活情報に至るまで、情報交換を行っている。ニムラナ工業団地の詳細はジェトロHPを参照されたい

(http://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/in_newdelhi/neemrana/)。

この他、ジェトロHPではインドビジネスに関する各種情報を提供しているので、活用頂きたい。



ラジャスタン州・ニムラナ日本企業専用工業団地の様子



景況レポート

平成26年
2月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
(うち70名分の集計)の情報連絡票から

〔I〕2月の特色

- ◆景況感DI値プラス11
～前月比で7ポイントの改善～
- ◆非製造業の景況感DI値の改善幅が大きい
- ◆消費増税前の駆け込み需要がみられる

〔II〕2月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転25、悪化14で、DI値はプラス11となり、前月のDI値プラス4に対し7ポイントの改善となっている。

さらに業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はプラス14となり、前月比でプラス2ポイント、非製造業のDI値はプラス9となり、前月比プラス12ポイントとなっている。ともに改善の結果ではあるが、非製造業の改善幅が大きい。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、米菓、銘木、家具・装備品、特殊紙、石灰、砂利生産、砕石生産、鋳物、刃物等金属製品（輸出）、輸送用機器、機械・工具販売、家電機器販売、中古自動車販売、広告美術、鉄構造物、電気工事、建築板金、室内装飾の18業種（前月比+3業種）。

また、「悪化」と回答した業種は10業種（前月比-2業種）となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はプラス14で前月比5ポイントの悪化、販売価格DI値はプラス6で前月比6ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス1で前月比5ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス2で前月比±0ポイントとなっている。

コメントを見ると、製造業では、「レディース春夏物の受注状況は、前年同月比で増加している組合員が多い。（縫製）」、「各社前年同月比15%～30%の伸び。休日の振替や残業によって生産量の増加へ対応している。（家具・装備品）」、「2月の製品生産量、製品出荷量は前年同月を上回る状態となり、単価改定も逐次浸透し、収益状況も好転の傾向。（砕石生産）」など、プラスの内容が報告されている。

非製造業では、「大型冷蔵庫・洗濯機・テレビ等で消費増税前の駆け込み需要が見られる。（家電機器販売）」、「葬儀、ブライダル等の業務需要の動きが比較的活発。（生花販売）」、「リフォーム工事が多くなり仕事量が增大。（建築板金）」など、プラスの内容が報告されている。

なお、“消費増税前の駆け込み需要”を要因とする売上、受注動向の改善を伝えるコメントは、上記（家電機器販売）を含め、幅広い業種から報告されている。

また、生産（仕事）が増加する中で、現状の技術者（職人）不足、そして人材確保難の状況にあり、対応できないといった課題が報告されている。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加35、減少21でDI値はプラス14となり、前月のプラス19に対し、5ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は25業種（前月比-1業種）あり、米菓、縫製（既製服）、製材、家具・装備品、特殊紙、石灰、生コンクリート、砂利生産、砕石生産、鋳物、刃物等金属製品（輸出）、メッキ、県金属工業団地、可児工業団地、輸送用機器、機械・工具販売、青果販売、家電機器販売、中古自動車販売、生花販売、広告美術、土木（岐阜地区）、鉄構造物、電気工事、室内装飾である。

売上が減少した業種は15業種（前月比+2業種）となった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇17、低下11でDI値はプラス6となり、前月の±0に対し、6ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は12業種（前月比+3業種）あり、食肉（国産）、銘木、家具・装備品、東濃ひのき、プラスチック、砂利生産、砕石生産、青果販売、水産物商業、石油製品販売、生花販売、鉄構造物である。

販売価格が低下した業種は7業種（前月比-2業種）となった。

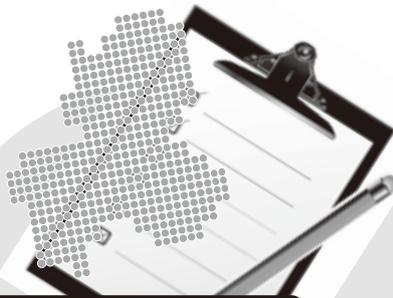
収益状況の動向は、前年同月比で好転20、悪化21でDI値はマイナス1となり、前月のマイナス6に対し、5ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は14業種（前月比+3業種）あり、米菓、製材、家具・装備品、特殊紙、砂利生産、砕石生産、刃物等金属製品（輸出）、機械・工具販売、青果販売、中古自動車販売、広告美術、鉄構造物、電気工事、建築板金である。

収益状況が悪化した業種は15業種（前月比±0業種）となった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転10、悪化12でDI値はマイナス2となり、前月のマイナス2に対し、±0ポイントとなった。

資金繰りが好転した業種は7業種（前月比±0業種）あり、家具・装備品、可児工業団地、輸送用機器、青果販売、広告美術、電気工事、建築板金である。資金繰りが悪化した業種は9業種（前月比±0業種）となった。



県内中小企業

(2月末調査)

主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比					
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感
食 料 品	牛 乳	△	△	△	△	△	△
	食 肉 (国 産)	△	○	△	△	△	△
	菓 子	△	△	△	△	▲	△
	米 菓	○	△	○	△	△	○
	製 麵	△	△	△	△	△	△
織 維 ・ 同 製 品	撚 糸	△	△	△	△	△	▲
	ニ ッ ト 工 業	△	△	△	△	△	△
	毛 織 物	△	△	△	△	△	△
	合 成 織 維 織 物	△	△	△	△	△	△
	メ ン ス ア パ レ ル	▲	△	△	△	△	△
	婦 人 ・ 子 供 服	▲	▲	▲	▲	△	▲
	縫 製 (既 製 服)	○	△	△	△	△	△
木 材 ・ 木 製 品	製 材	○	△	○	△	△	△
	銘 木	▲	○	△	△	△	○
	家 具 ・ 装 備 品	○	○	○	○	○	○
紙 紙 加 工 品	機 械 す き 和 紙	▲	△	▲	△	△	△
	特 殊 紙	○	△	○	△	△	○
	紙 加 工 品	△	△	△	△	△	△
印 刷	印 刷	▲	△	▲	▲	△	▲
化 学 ゴ ム	プ ラ ス チ ッ ク	△	○	▲	△	△	▲
窯 業 ・ 土 石	陶 磁 器 (工 業)	△	△	△	△	△	△
	タ イ ル	▲	▲	▲	▲	△	▲
	窯 業 原 料	▲	△	▲	△	△	△
	石 灰	○	△	△	△	△	○
	生 コ ン ク リ ー ト	○	△	△	△	△	△
	砂 利 生 産	○	○	○	△	△	○
鉄 鋼 ・ 金 属	碎 石 生 産	○	○	○	△	△	○
	鑄 物	○	△	△	△	○	○
	刃 物 等 金 属 製 品 (輸 出)	○	△	○	△	△	○
	刃 物 等 金 属 製 品 (内 需)	△	△	△	△	△	△
一 般 機 械	メ ッ キ	○	△	△	△	△	△
	県 金 属 工 業 団 地	○	△	△	△	△	△
	可 児 工 業 団 地	○	△	▲	○	▲	△
輸 送 用 機 器	金 型	△	△	△	△	△	△
	輸 送 用 機 器	○	△	△	○	○	○

非 製 造 業		前年同月比					
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感
卸 売 業	電 設 資 材 卸	△	△	△	△	△	△
	陶 磁 器 産 地 卸	▲	△	▲	▲	△	▲
	機 械 ・ 工 具 販 売	○	△	○	△	○	○
小 売 業	青 果 販 売	○	○	○	○	△	△
	水 産 物 商 業	△	○	△	△	△	△
	家 電 機 器 販 売	○	▲	△	△	△	○
	メ ガ ネ 販 売	▲	△	▲	▲	▲	△
	中 古 自 動 車 販 売	○	△	○	△	▲	○
	石 油 製 品 販 売	△	○	▲	△	△	△
	共 同 店 舗 (飛 騨)	▲	▲	▲	△	△	▲
商 店 街	生 花 販 売	○	○	△	△	▲	△
	岐 阜 市 商 店 街	△	▲	△	△	△	△
	大 垣 市 商 店 街	△	△	△	△	△	△
サ ー ビ ス 業	高 山 市 商 店 街	△	△	△	△	△	△
	自 動 車 車 体 整 備	△	△	△	△	△	▲
	長 良 川 畔 旅 館	△	△	△	△	△	△
	下 呂 温 泉 旅 館	△	△	△	△	△	△
	高 山 旅 館	△	△	△	△	△	△
	ク リ ー ニ ン グ	▲	△	▲	▲	△	▲
	広 告 美 術	○	△	○	○	△	○
	飲 食 業	△	△	△	△	△	△
	旅 行 業	△	▲	▲	▲	△	△
	理 容 ・ 美 容 業	▲	△	△	△	△	△
建 設 業	土 木 (岐 阜 地 区)	○	△	△	△	△	△
	土 木 (飛 騨 地 区)	△	△	△	△	△	△
	建 築 設 計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄 構 造 物	○	○	○	△	△	○
	電 気 工 事	○	△	○	○	△	○
	管 設 備 工 事	△	△	△	△	△	△
	建 築 板 金	△	△	○	○	△	○
	室 内 装 飾	○	△	△	△	△	○
	木 造 建 築	▲	△	▲	△	▲	△
	運 輸 業	貨 物 運 送 (県 域)	▲	△	△	△	△
軽 運 送		△	▲	△	▲	▲	△

凡 例

○: [増加]、[上昇]、[好転]

△: [不変]

▲: [減少]、[下降]、[悪化]

組合紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜県舞台設備管理事業協同組合

- 理事長 元林 秀幸
- 組合員数 13人
- 設立年月 平成11年5月
- 住所 岐阜市西川手7丁目36番地
- TEL 058-272-3339
- URL <http://www.gifubukyou.com/>

◆組合の歴史・活動



元林理事長

当組合は、平成11年に「舞台照明・舞台音響・舞台美術」の技術を有し、舞台設備管理及び運営に係る業務を行う事業者19名で設立しました。当時

は、県及び市町村における会館、ホール等の建設が相次ぎ、大型イベント等の開催が活発な時代でしたが、それを管理・運営する我々の業界の認知度は決して高くありませんでした。また、舞台設備機器等におけるコンピューター化の進歩は目覚ましく、少数精鋭で経営する事業者が多い業界のため人材育成が課題でした。こうしたことから当組合を組織し、各社が抱える課題の解決や業界の知名度向上のために各種事業を展開してきました。

今年5月に設立15年を迎えますが、当組合では「舞台設備管理及び運営業務」の共同受注事業並びに組合員や従業員を対象とした教育訓練事業をメインに活動をしてきました。特に共同受注事業については、指定管理者制度により県内市町村から公立文化施設等の管理・運営を任されています。近年においては、指定管理者のマネジメント力も問われる時代となり、安全面にプラスして企画や広報といった部分も兼ね備えた総合力が求められています。また、教育訓練事業においては、技術研修ベーシックセミナーや劇場管理運営業務講習会などを愛知県や三重県の組合と共催して実施しているほか、県中央会の支援事業を活用して、音響・照明・舞台に関する技術講習やビジネスマナー研修も行っています。

◆組合の新たな取り組み

我々の仕事は同業他社との比較が難しく、結果として料金を主体とした競争になりやすいため、組合員が持つ技術を「資格」という第三者からの評価で示したいと考えていました。そこで、当組合では、新たな取り組みとして中央会の支援を受けて「岐阜県劇場運営管理技術士」という資格制度を進めています。資格者が在籍していることで、安全・安心といった信用力の向上と、技術面での専門性を高め、より良いサービスを提供出来る事を目的としています。

元林理事長は、本業界は『音響・照明・舞台』にプラスして『管理・運営』業務が求められる時代となり、5年ほど前から資格制度の構築に向けて動き始めました。当時と比べると組合員の意識も年々高まり、26年4月には第一期生「岐阜県劇場運営管理技術士」が誕生します。また同時にその技術力を維持向上させる為の**更新制度**も開始します。専門技術の提供のみならず、法令に基づいた安全の確保や住民サービスといった部分まで教育訓練を実施したいと思っています。今後は行政等に対して認知度を上げる活動は勿論ですが、組合の魅力を保つという点からも組合員にとって付加価値となるような資格制度にしていかなければなりません。県内の仕事もまだまだ大手や他県の事業者が扱っているケースが少なくないため、岐阜にも技術を持った事業者がいることを示していきたいと思っております」と抱負を語りました。



「岐阜県劇場運営管理技術士」の実技試験

協同組合ケーエスジー

- 理事長 中島 猪成夫
- 組合員数 24人
- 設立年月 昭和28年8月
- 住所 岐阜県多治見市笠原町2827番地の1
- TEL 0572-43-3218
- URL <http://www.minoir-ksg.com/jp/>

◆組合の歴史・活動

当組合は昭和28年に食器を中心とした美濃焼の卸売業者56名で「笠原陶磁器商業協同組合」を設立し、平成7年に現在の名称に改称しました。組合員はピーク時から減少しましたが、“タイルの街、笠原町”で地場産業の発展を目指し活動しています。



中島理事長

設立当時の笠原町（現多治見市）は、全国シェア80%を占める飯茶碗の産地として発展していました。しかし、昭和45年頃からライフスタイルの変化により各家庭に風呂場が設けられ、タイル需要が大幅に増え始めました。こうしたことから、取引先のメーカーも茶碗等の陶磁器の生産からタイル生産へシフトし、組合員の取り扱う商品もタイルが主力となりました。

当組合では補助事業等を積極的に活用しています。昭和53年には全国中央会の「活路開拓調査指導事業」、昭和59年には「組合マーケティング強化対策事業」を活用し、タイルの市場調査や販路開拓を行いました。最近では5年前に再び「活路開拓調査・実現化事業」に取り組み、組合員の事業活動の改善や組合員を支援する共同事業など有効な連携組織ビジョンを策定して組織強化を図りました。

また、昭和57年に官公需適格組合の証明を受け、官公庁からの受注を活発にするために昭和60年には岐阜県産業活性化対策事業を活用して、官公庁納入タイル施工写真集『粧』を発刊しました。さらに平成4年にはJR東海商事(株)と業務基本契約を締結し、同社と共同ブランド『MINOIR（ミノアール）』のカタログを製作して、JRなど民間からの共同受注の強化に努めてきたほか、タイル工事の共同受注事業を定款に追加し、2006年に建設業許可も取得。官公需のみならず民需にも販路を広げています。

◆組合の新たな取り組み

『美濃焼CTタイル（汚れが付きにくいタイル）』をメーカーと共同で開発し、公共施設や商業施設で数多く使用されています。また、古紙を使用した軽量タイル『クラフトブリック』を開発しましたが、類似商品との競合があり、市場にはなかなか受け入れられませんでした。その後、都市温暖化とCO2排出抑制のための機能を付加した『美濃焼クールアイランドタイル』を産学官共同開発に当組合も参画するなど、補助事業等を活用して進めています。

東日本大震災時には、耐震性やタイルの剥離問題がクローズアップされましたが、2008年の建築基準法改正により10年毎の外壁全面打診検査が義務付けられて以降、マンション等における外壁タイルの使用頻度が減少し、業界は厳しい状況にあります。そのため、組合では外壁全面打診検査及びそれに代わる赤外線外壁調査を東京都のサーチ事業開発協同組合と共同で取り組むこととしました。これは、我々が施工した物件の安全性を管理していくという点と劣化した外壁を早期に発見し、落下事故等を未然に防止するという点を目的にしています。

中島理事長は「当組合は時代の変化や経済環境に合わせながら60年という歴史を積み上げてきた。組合員が共通で取り扱える商品開発は組合の重要な役割であり、今後も継続して行っていきたい。また、平成28年に日本タイル館（仮称）が開館する予定だが、笠原町のシンボリックな存在となるよう業界としても意見を出していくつもりだ。美濃のタイルを将来に残していくことが組合の務めであり、行政や支援機関等のサポートを受けながら、地場産業の発展に努めていきたい」と抱負を語りました。



共同受注事業による施工例

県の試験研究機関を活用しましょう!

岐阜県には11機関17ヶ所に試験研究機関があり、「工業系」「農業系」「林業系」「健康福祉系」に分かれて中小企業等に対し研究開発・技術支援を行っています。

その中で、県内産業の高度化・活性化、新分野展開に向けた研究開発や技術支援を行う工業系試験研究機関は、『産業界・県民のニーズに応える研究開発』と『質の高い技術支援（依頼試験・技術相談等）』に取り組んでいます。

組合又は組合員企業が抱える課題解決や新事業展開などの際には是非ご活用下さい!

【工業系試験研究機関】

- ①工業技術研究所（関 市）：機械、金属、複合材料
- ②産業技術センター（笠松町）：プラスチック、繊維、紙、食品、環境
└─ 紙研究部（美濃市）
- ③情報技術研究所（各務原市）：電気・電子、ロボット、IT
- ④セラミックス研究所（多治見市）：陶磁器、セラミックス
- ⑤生活技術研究所（高山市）：家具、木材、福祉機器



【主な技術支援事業】

- 技術相談：「製品開発や生産における技術的な課題を解決したい」
製品の性能評価・品質管理のための試験方法・不良原因究明など、製品や技術開発に関することなど技術的な相談に対応
- 依頼試験：「材料や製品の検査・分析をしてほしい。成績書を発行してほしい」
異物検査や性能試験、クレーム解析などを、持ち込み材料や製品を検査・分析し、成績書・評価書を発行（有料）
- 機器開放：「試験研究機関の機器を使って、自ら分析・測定を行いたい」
保有する測定器や分析装置を、皆様の技術開発・生産管理などに利用可能（有料）

その他、「新たな技術を身につけたい。技術力向上を図りたい」といった『人材育成』、「新しい技術の動向を知りたい。助成制度などの情報がほしい」といった『技術情報提供』なども行っています。

【県内組合の活用事例】

○岐阜県毛織工業協同組合

組合員の若手で「Team GIFU」を組織し、染色整理企業や糸メーカーと共に試験研究機関も交えて研究会を開催し、新商品の開発（ウールと可染ポリプロピレンを複合した軽量・保温・速乾アウター製品の開発）に取り組んだ。

○岐阜県酒造組合連合会

会員の蔵元が県産業技術センターに相談して開発されたのが「泡なしG酵母」。仕込みの際に泡がタンクから溢れ出ないようにあらかじめ酒の量を調整していたが、この「泡なしG酵母」により泡が発生する「G酵母」よりも生産性が3割ほど上がった。

その他、岐阜県プラスチック工業組合では組合員を対象とした技術講習会を実施し、岐阜県石灰工業協同組合の組合員は成分分析などに利用しています。

公設試験研究機関は敷居が高い所という話を聞く事がありますが、決してそのような場所ではありません。お気軽にご相談下さい。どこに相談したらよいかわからない場合は、工業技術研究所（0575-22-0147）又は県庁産業技術課（058-272-8366）までお問い合わせ下さい。

県では国補助金申請を支援するプロジェクトチームを設置し、総合相談窓口を開設しています。平成25年度補正『中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（ものづくり・商業・サービス補助金）』の支援については試験研究機関でも行っていますので積極的にご相談下さい。

中央会「理事会」「通常総会」のご案内

中央会では、『平成26年度第1回理事会』並びに『第59回通常総会』を下記の日程で予定しております。関係各位には、日程調整と併せてご出席をお願い致します。

- 理事会 4月21日(月) 10:30~ ふれあい福寿会館 3階「302大会議室」
- 通常総会 6月 3日(火) 15:00~ 岐阜都ホテル2階「ボールルーム」

決算関係書類等は本会経由でご提出を

組合は、通常総会の終了後2週間以内に「決算関係書類」を、変更のあった日から2週間以内に「役員変更届書」を所管行政庁に提出しなければなりません。

県所管の組合につきましては、中央会を経由（郵送又は持参）して所管行政庁に提出できます。

平成26年度組合等に対する支援事業の募集

本会では、平成26年度の組合等に対する支援事業について、実施希望組合を引き続き募集しています。

この事業は、組合等が抱える諸課題や人材育成等のため、専門家等による助言を行い、課題解決に向けて本会の主催により研修会等を実施するもので、一貫したテーマの下での取り組みにおいては、各種勉強会等の回数に制限はありません。

費用の一部をご負担いただくこととなりますが、より効果の高い研修となるよう研修内容等について本会の指導員と共に構築していただきます。

青年部や女性部などでの利用も可能ですので、この機会に是非ともご検討いただきますようお願い致します。支援対象となるテーマなど詳細は、本会HP (<http://www.chuokai-gifu.or.jp/>) をご覧下さい。

中央会日誌

《1月21日~30日》

- 29日 岐阜県成長・雇用戦略意見交換会（県庁）
- 31日 ものづくり岐阜テクノフェア3013実行委員会
（岐阜都ホテル）

《2月1日~28日》

- 13日 岐阜中金会講演会・通常総会（ホテルパーク）
- 20日 岐阜地方最低賃金審議会第2回運営小委員会
（岐阜合同庁舎）
中央会共済ブロック代表県事務局会議
（三井生命保険(株)本社）

- 21日 都道府県中央会事務局代表者会議（全国中央会）
- 24日 第47回岐阜県国土利用計画審議会（議会西棟）

《3月1日~20日》

- 10日 第2回岐阜地方労働審議会（岐阜労働局）
- 11日 若年技能者人材育成連携推進会議委員 異業種交流会
（グランヴェール岐山）
- 11~12日 東海北陸ブロック共済会議（金沢エクセルホテル東急）

全国健康保険協会 （協会けんぽ） 岐阜支部に加入の 事業所さまへ

平成26年度保険料率
介護保険料率が変わります
（健康保険料率は据え置きです）
平成26年3月分（4月納付分）から

- 健康保険料率
9.99%（据え置き）
- 介護保険料率
1.72%（引き上げ）

となります。
詳しくは、全国健康保険協会（協会けんぽ）ホームページにてご確認ください。

中小企業・小規模事業者 ものづくり・商業・サービス革新事業の公募について

本事業は中小企業・小規模事業者が取り組む、試作品・新サービス開発、設備投資等による新しいチャレンジを支援するものです。

事業の目的

ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援します。

対象要件

認定支援機関に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者

- ①「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用していること
- ②革新的なサービスの提供等を行い、3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経営利益」年率1%の向上を達成する計画であること

募集期間

【1次公募】

- ◆ 受付開始：平成26年2月17日（月）
- ◆ 一次締切り：平成26年3月14日（金）〔受付終了〕
- ◆ 二次締切り：平成26年5月14日（水）〔当日消印有効〕

*一次締切りに応募された場合は、二次締切りに応募出来ません！

※ 必ず **郵送** により、下記の岐阜県地域事務局宛てに送付してください。

公募要領等

「公募要領」、「申請書様式」につきましては、下記ホームページに掲載しております。

(※「岐阜県内認定支援機関」は下記のサイトからご覧いただけます。)

岐阜県中小企業団体中央会ホームページ

<http://www.chuokai-gifu.or.jp/chuokai/mono25/0217mono-boshu.html>

なお、申請書は公募要領の注意事項をご確認のうえ、作成してください。

○ 其他のご質問については、岐阜県地域事務局までお尋ねください。

【申請書受付先・問い合わせ先】

岐阜県地域事務局（岐阜県中小企業団体中央会）

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館9階

☎ 058-277-1101